

災害を知る — 土砂災害・洪水

土砂災害とは

土砂災害とは、大雨や地震などにより、山やがけが崩れたり、水と混じりあった土や石、流木などが川から流れたりすることによる自然の災害です。

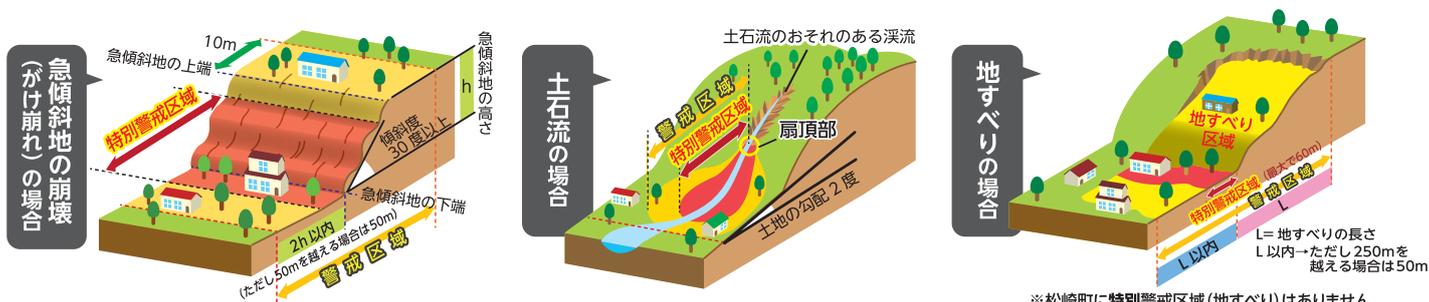
土砂災害の主なものに、**急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）**、**土石流**、**地すべり**があります。これらの土砂災害について、発生の恐れのある区域が、静岡県により指定されており、被害の危険度に応じて**土砂災害特別警戒区域**と**土砂災害警戒区域**に分かれています。

土砂災害特別警戒区域とは

急傾斜地の崩壊や土石流、地すべりが発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民などの生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、特定の開発行為に対する許可制や、建築物の構造制限などが行われます。

土砂災害警戒区域とは

急傾斜地の崩壊や土石流、地すべりが発生した場合に、住民などの生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。



※松崎町に特別警戒区域（地すべり）はありません。

土砂災害の種類	急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）	土石流	地すべり
	<p>地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちる。</p>	<p>山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される。</p>	<p>斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する。</p>
前兆現象	<ul style="list-style-type: none"> がけから小石がパラパラと落ちてきた がけに割れ目ができた がけから水が吹き出てきた 	<ul style="list-style-type: none"> 山全体がうなっている（山鳴りがする） 川の水が濁ったり、流木が混ざったりする 雨が続けているのに川の水が減っている 	<ul style="list-style-type: none"> 地面がひび割れた、一部が陥没あるいは隆起した 地下水などの水が濁った 池や湖の量が急に变化した

洪水の種類

内水氾濫

非常に強い雨が降り、河川の水位が急上昇すると、雨水が下水道や水路から河川に排出できなくなります。降った雨が行き場を失って、あふれる現象を「**内水氾濫**」といいます。

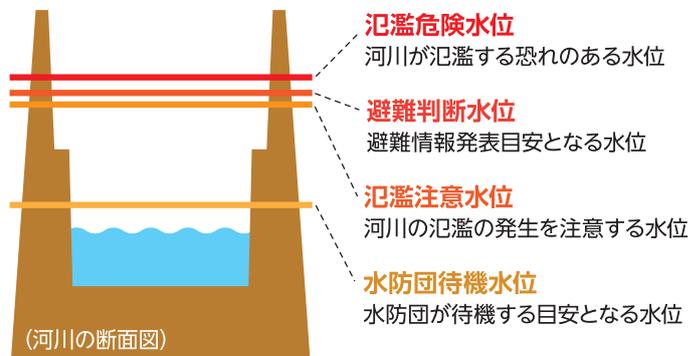


外水氾濫

非常に強い雨が降り続けると、河川の水位が上昇し、堤防が決壊する恐れがあります。堤防が決壊すると多大な被害が発生します。河川の水があふれる、または堤防が決壊するなどして、河川の水が流れ出す現象を「**外水氾濫**」といいます。



河川の水位情報



降水量	少	多		
水位	水防団待機水位	氾濫注意水位	避難判断水位	氾濫危険水位
那賀川 (伏倉橋)	0.7m	1.7m	1.8m	1.9m